

11/5

大規模災害対応講習会（東京開催）を開催

11月5日（水）、大規模災害対応講習会（東京開催）を化学防護手袋研究会との共催形式で開催いたしました。毎年8月頃に本学で開催している大規模災害対応講習会を東京でも開催してほしいという声に応え、初めての開催となりました。消防や医師、電力会社勤務の方、放射線関連の業務に従事の方など30名の参加をいただきました。

本学から5つの講義（①法医学的対応、②災害時の健康管理の実際、③放射線の基礎知識と災害対策、④化学物質の基礎知識と災害対策、⑤生物剤の基礎知識と災害対応）、化学防護手袋研究会から手袋の着脱に係る講義・実習を行いました。大規模災害が実際に起こった際、初期対応としてどのように対処すべきかについて、いろいろな視点から学ぶことができるという意味では、産業医科大学ならではの講習会であると思われます。

講義後のアンケートでは、「学会を含め普段まとまって教育を受ける機会があまりなかったため、非常に参考になりました」、「実際の現場を想定した少し生々しい内容も含まれていましたが、そうした点がむしろ現実味を帯びており、とても印象に残りました」など講義内容について高い評価をいただきました。

また、今回は時間の都合上実習を行えませんでしたが、行ってほしいとの声も多くありました。その他、いただいたご意見・ご感想を今後の教育活動に活かしてまいりたいと思います。

本講習会の開催にあたり、協賛企業の皆様、講師の先生方、講座スタッフの皆様、そして大学管理課の皆様には、格別のご支援とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

